

平成30年度個人防護具着脱訓練支援及び個人防護具配備事業について

1 事業概要

(1) 事業目的

新型インフルエンザ等の感染症発生時に対策の中心となる医療機関等の二次感染防止能力を向上させるため、個人防護具着脱訓練実施支援及び感染防護用個人防護具配備を行う。

(2) 事業対象

地区医師会、感染症指定医療機関、感染症診療協力医療機関、感染症入院医療機関、民間救急事業者

(3) 事業内容

- ① 希望する医療機関等へ個人防護具（備蓄用・訓練用）を配備
- ② 医療機関等は配備された個人防護具（訓練用）を用いて着脱訓練を実施（希望する医療機関等には、訓練講師（感染管理認定看護師）を派遣）
- ③ 訓練結果を都に報告

2 平成30年度の実績

	地区医師会 (対象46機関)		医療機関※ (対象224機関)		民間救急事業者 (対象1機関)		合計	
	個人防護具 配備	講師派遣	個人防護具 配備	講師派遣	個人防護具 配備	講師派遣	個人防護具 配備	講師派遣
平成30年度実績	28	13	127	36	0	1	155	50
(参考)平成29年度実績	32	9	149	28	1	1	182	38

※感染症指定医療機関、感染症診療協力医療機関及び感染症入院医療機関

【講師派遣を受けた訓練参加者の意見】

- ・多くのスタッフがこのような訓練を受け、パンデミックの際に対応できる体制を構築する必要がある。
- ・二次感染の危険が常に潜んでいることを実感できる内容だった。
- ・忘れかけていた新型感染症への備えの重要性を再認識した。
- ・今回、訓練の機会を頂いたことで、改めて感染症対策の一端を確認できて意識づけとなった。
- ・実践してみると、想像以上に難しいことが分かった。
- ・着脱の難しさ、着用した上での作業の大変さが十分に分かった。
- ・文字で読むのと実際に体験することの大きな違いを感じた。
- ・今後も実際の防護具を使用した訓練の継続実施が必要であるとの認識を持った。
- ・着脱の難しさを実感することができ、日常からの訓練の必要性を感じる事ができた。
- ・機会があれば再度訓練を行いたい。
- ・講師の先生に懇切丁寧に御指導いただいたので、順調にできた。
- ・講師による講義はわかりやすく、平時でも役立つ内容が含まれており今後役に立たい。
- ・非常に有益な講習会であった。

3 着脱手順書及び動画の作成について

(1) 目的

医療機関において、自主的・継続的に个人防护具の着脱訓練を実施できるよう、着脱手順を解説する手順書及び動画を作成する。

(2) 内容

① 着脱手順書

- ・基礎知識編 新型インフルエンザ等に対する医療体制 等
- ・着脱手順編 ガウンタイプ フルPPE 着衣手順 等

② 着脱動画

- ・ガウンタイプ フルPPE 着衣
- ・ガウンタイプ フルPPE 脱衣
- ・ワンピースタイプ フルPPE 着衣
- ・ワンピースタイプ フルPPE 脱衣
- ・介助者用PPE 着衣
- ・介助者用PPE 脱衣

③ 監修者

公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院 感染症内科医長 中村 ふくみ氏

(3) 周知方法

① 令和元年5月に東京都のホームページに着脱手順書及び動画を掲載

・着脱手順書

都の新型インフルエンザ対策のページに掲載

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryu/kansen/shingatainflu/cyakudatsu.html>

・着脱動画

東京動画（東京都公式動画チャンネル）に掲載

<https://tokyodouga.jp/>

※東京動画のページにて「个人防护具」で検索

② 関係機関への通知

東京都医師会、全病院、本事業に参加している医療機関及び保健所に対して、着脱手順書及び動画の公表を通知にて案内